

まちづくりマイノートの活用方法・活用の促進について

9月下旬に小学1年生以上の町民へ配布を行ったマイノートを活用して、より多くの意見を収集するため、下記の企画（案）を検討する。

◆方法1：子供たちの意見収集に活用

- ① 子供たちの生の声を聞き、今後の子供意見収集のためのマイノートの活用に活かすため、騎西小学校へ通う双葉町の児童生徒（1年生～6年生の全て）を対象にヒアリングを行う。ヒアリングは、低学年・中学年・高学年と成長過程に応じて実施し、子供向けの設問内容等を検討する。

【スケジュール（予定）】

11月中に実施予定。（日程調整中）

児童生徒を集めやすい学校活動時間の中で、低学年・中学年・高学年に分けてヒアリングを行う。

- ② 全国に避難する、小学生、中学生、高校生を対象に、改めて、1人1人にノートに書いて伝えてほしい想いや意見を具体的に示したお知らせを送付し、マイノートの活用を促進する。
お知らせをする際には、小学生・中学生・高校生それぞれの成長過程に合わせて、理解できる内容を検討する。

【設問と意見の例】（※設問文章、設問内容については今後検討）

Q：今の生活で困っていることは何ですか

A：家族がバラバラになり、一緒に暮らせなくなった
放射能のせいで病気にならないか不安

Q：今の生活でよかったことは何ですか

A：友だちの大切さが分かった
双葉にいたら経験できないことができた

Q：大人になったとき双葉町がどんな町になってほしいですか

A：放射能がなくて安全なところ
家族と一緒に住めるところ

【スケジュール（予定）】

11月中 上記①のヒアリング内容も参考とし、設問内容を検討

12月上旬に配布

◆方法2：町民全体へのマイノートの活用方法の周知・促進

- ①地域事務局が実施するワーキンググループ会議で、使い方の丁寧な説明を行う。ワーキンググループ会議等で意見出しをしながら、実践形式でノートの活用法を伝えていく。

【現在確定している地域事務局】

福島地域事務局（福島県内各地を担当）

埼玉地域事務局／東京地域事務局／つくば地域事務局

- ②使い方について記載したチラシを繰り返し配布することで、活用を促進する。使い方については、より具体的に記載内容の一例を載せ、書き込む内容が分かりやすいような内容とする。

【マイノート記載内容の一例】

環境・暮らし

元の双葉町と仮の町について

- ・ふるさと双葉町はなくさない。
- ・帰還する条件は、放射線がなく安全に暮らせること
- ・帰還が長期間困難ならば、安心して生活できる場所を仮の町として早急につくる
- ・集まって生活したいけれど、一か所ではなく、選択できるように複数の条件で数カ所に作ってほしい
- ・仮の町で祭りやイベントを開催して町民の繋がりを守る

・・・等々

双葉町 町民参加の「7000人の復興会議」 みんなでまちづくりマイノートについて

現在、双葉町では、「双葉町復興まちづくり計画」の策定を進めています。多くの町民の方からまちづくりに関するご意見やご要望をいただくために「7000人の復興会議」を開催しています。「7000人の復興会議」へ参加する方法は、以下の3つの方法があります。

方法1. 会議開催会場へ参加

各地で開催される
ワークショップ会議へ参加する



方法2. インターネット会議へ参加

専用ホームページに
登録して参加する



方法3. マイノートへ意見を記入 マイノートへ意見や 要望などを記入する



「7000人の復興会議」の参加方法

方法3：みんなでまちづくりマイノートについて

「みんなでまちづくりマイノート」を9月下旬に小学生以上の町民の方全員に送付しました。このマイノートへ、個人としての意見や要望などを自由にお書きください。

ご家族やご友人などと相談しながら書いても結構です。

「子どもと安心できる場所に住みたい」、「先祖の墓を守りたい」、「早く自然豊かな双葉町へ帰りたい」、「仮の町を早くつくって欲しい」、「避難生活が大変」など、皆さまのご意見は、世代や家族構成、避難状況、関心事によって異なるものだと思います。

そのため、世帯主だけを対象にしたアンケート方式ではなく、今回のような自分だけのノートを配付し、一人一人のご意見を計画に反映させたいと考えています。また、月日を経つにつれて皆さまの想いが変わるかも知れません。

日記のように、今後の生活と双葉町の復興について、その日に想い、感じたことをお書きください。そのため厚めのノートにしています。

この「まちづくりマイノート」は、12月に回収用封筒を送付し回収する予定です。町民皆さまのご意見をお寄せください。

(※お手元にマイノートが届いていない場合は、下記連絡先までご連絡願います)



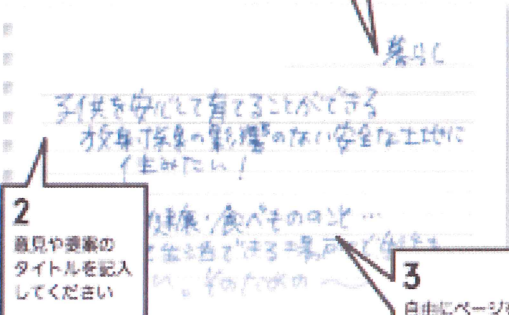
■ページの書き方例：



1
ホームページ
で使われている
「カテゴリ分類」
から選んで記入
してください

2
意見や提案の
タイトルを記入
してください

3
自由にページを
使って意見や
提案を記入して
ください



【お問い合わせ先】

みんなでまちづくりサポート本部 担当：高柳・森田
(受託先：湘エコエナジーラボ)

TEL/FAX：0120-805-346
お問い合わせ用Eメール：info@machisupport.jp